

## 2012 静修会 共同祈願

○この2日間で食卓を共にして分かち合いあい学んだ私たちの経験を、それぞれの家庭や職場に持ち帰り、それぞれが実践してゆくことが出来ますように、神様のお恵みをお与え下さい

○丹沢学舎の2日間で学び分かち合いの中から得た教訓を持ち帰り、各家庭で祈りを通じて心豊かな日々を送れるように祈ります。また、私たちの娘と同じ時代に生きる世界中の子供たちが、戦争や貧困から解放され、心豊かな生活を送ることが出来ますように。

○聖心の家族としてここに集えたことに心より感謝いたします。アマタックのラーさんをはじめとして、いま病に悩める人たちのために祈ります。病を克服する力をお与えください。そして、また活躍の場に復帰されますように、ヨゼフ会、また、我々の家族が健やかな日々を過ごせますように、そしてわれわれヨゼフ会の父親たちが、静修会で学んだ祈りを、学院にいる娘たちと共に実践し続けてゆくことが出来ますように。

○私たちはこの2日間で、祈りの意味について、学び、考え、分かち合い、理解を深めることが出来ました。先ずこのことに感謝したいと思います。静修会が終わると慌しい日常生活に戻ることにになりますが、いまこの時も経済状態や災害紛争差別などによって困難に直面している方々がたくさん居られます。私たちがこの2日間で学んだ祈りを実践してゆくことによって、こうした方々の力になることが出来ますように。

○この2日間の静修会で学んだことを、一人ひとりが日々の感謝の気持ちを持って祈ります。子供たちに、そして震災で被災された人たちに、暖かく平和な世の中が訪れますように。

○私たちに今回このような寝食を共にする機会を与えてくださったことに感謝します。普段孤独な父親一人ひとりが、静修会を通じて対話と祈ることを通じて、おおきな目に見えない繋がりがあることに気づきました。この気づきを元に皆が頑張れますように。また、ラーさんのご病気からの回復をお祈りいたします。

○毎日の忙しい日々の中でも、日常と祈りを結びつけることを心がけるようにし、神の国が身近に感じられるように、愛の心に満たされますように。また、東日本大震災からは1年8ヶ月が経過しましたが、被災された方々の心にはまだ平穏が訪れていません。被災された方々をはじめ日本全体、世界全体に安らかな心が訪れますように。

○世界中の子供たちが全てに感謝し、惜しみなく与え、主体的に生き、平和で素晴らしい世界を作り、笑顔で暮らせますように。

○今回の静修会を通じて改めて考えを深めることができた祈りについて、ここに集うお父様方、ご家族や周囲の方々が、生活の中で祈りを深く実践し、強く生きてゆくことが出来ますようお導きください。

○私たち親が間違ったときには子供たちにきちんと謝る勇気をお与えください。子供と一緒に成長させてください。子供も私たちも神様に生かされ愛されていることを知り、他の人々を愛することが出来ますように

○未来を担う子供たちが家庭や社会の中で慈しみを受けて育ち、感謝のうちにそれぞれの隣人と分かち合うことが出来ますように

○ここに集うお父様方、その家族の方々、全ての者が、常に感謝の念を持って物事に当たることが出来ますように。また決意を持って取組んだ折には完遂できる力をお与えください。神様のお力で、許せぬものを許し、愛せぬものを愛することが出来ますように。